

症 例

気管支洗浄液中にアスベスト小体を認めた1症例

病理センター、細胞診断室、細胞検査士¹⁾、細胞診指導医²⁾

伊藤 保¹⁾、杵 渕 典 子¹⁾、石 澤 重 一¹⁾、小 杉 久 良¹⁾
 片 桐 丘 充¹⁾、大 橋 珠 紀¹⁾、五十嵐 俊 彦²⁾

抄 録

背景：アスベストは線維状の珪酸塩鉱物の総称名である。この石綿線維の周囲が、血液由来の鉄を含有しムコポリサッカライドを主成分とした物質に被われたものを、アスベスト小体と呼ぶ。アスベスト小体は肺癌および中皮種の発生に関係があると考えられている。

症例：84才；男性；三条病院の胸部CTで両肺の小粒状の陰影の他に右上葉に直径3.5程の集塊状陰影あり、気管支鏡を施行、rtB'aより気管支洗浄を実施し、細胞診検査でアスベスト小体を確認し、塵肺(石綿肺)と考えられた。細胞診：黄褐色、鉄亜鈴状のアスベスト小体をもとめた。考察：細胞診上アスベストを確認しは石綿肺と診断できた。アスベストは肺癌及び中皮腫の発生に関係があると考えられており、アスベスト小体の検出は意義のあるものと考えられる。

キーワード： 塵肺、石綿肺、アスベスト小体、肺癌、中皮腫

背景

アスベスト(石綿)にはクリソタイル、クロシドライト、アモサイト、などの種類があり、線維状の珪酸塩鉱物の総称名である。この石綿線維の周囲が血液由来の鉄を含有しムコポリサッカライドを主成分とした物質に被われた物をアスベスト小体と呼ぶ。肺胞内で石綿線維によりつくられ、大きさ3~100 μ mと種々である。5 μ m以上のものが人体に有害とされ、肺癌および中皮腫に関係があるとされている¹⁾。

今回、当施設においてアスベスト小体を経験したので、報告する。

症 例：84才；男性

主 訴：頻尿

現病歴：頻尿の訴えあり、近医で前立腺癌関連抗原(PA)を測定したところ36.72と高値であったため前立腺癌が疑われ、三条病院泌尿器科を紹介され初診となった。

精密検査目的に入院、入院時の胸部X線撮影で両肺の小粒状陰影がみられたため、胸部CTを施行、両肺の小粒状陰影のほか右上葉に直径3.5cm程の集塊状陰影あり、塵肺の他鑑別として肺癌、結核などが考えられたため、気管支鏡を施行、rtB'aより気管支

洗浄を実施し、細胞診検査でアスベスト小体(+)であったため、集塊状陰影は塵肺の一部と考えた。

動脈血酸素飽和度(SaO₂)96%で呼吸器的な主訴はありません。

検診歴：なし

職 歴：不明

細胞診

(写真1)：好中球やリンパ球、塵埃細胞などがみられる背景に黄褐色、鉄亜鈴状のアスベスト小体をもとめた。

(写真2)：鉄染色陽性を示し、別名含鉄小体と呼ばれる。

考 察

アスベストは塵肺の一種である石綿肺の病因で、肺癌及び中皮腫の発生に関係があると考えられている。肺内でのアスベスト小体の存在は、被験者がアスベストに曝露されていた証拠になる²⁾。気管支洗浄液中でのこの小体の出現は石綿肺の診断に寄与するとともに肺癌及び中皮腫の発生の可能性を示唆するものとして意義がある。

最後に本症例を提供していただいた三条病院内科：伊藤一寿先生にお礼を申し上げます。

文 献

1. 坂本穆彦. 臨床細胞診断学アトラス. 東京：文光堂, 1993；110.
2. 飯島宗一他編集. 現代病理学体系, 東京：中山書店 1993；14B：87-94.



(写真1) パパニコロウ染色×60



(写真2) 鉄染色×60

Case Report A case of asbestos body in sputum in cytopathology

Department of Cytopathology, Pathology Center; Cytotechnologist 1), Cytopathologist 2) Tamotsu Itoh 1), Noriko Kinefuchi 1), Shigekazu Ishizawa 1), Hisayoshi Kosugi 1), Takamitsu Katagiri 1), Tamaki Oh-hashii 1), Toshihiko Ikarashi 2)

Abstract

Background: Asbestos is a general term of a mineral group of filamentous silicate. So-called asbestos body contains blood-derived iron and mucopolysaccharide around silicate fiber, and is related to both lung cancer and mesothelioma. Case: 84-year-old male showed military shadow over both lung fields. Bronchoscopic bronchial aspirate from B1a revealed asbestos bodies cytologically. He was diagnosed as pneumoconiosis (asbestosis).

Key words: asbestos body, pneumoconiosis, asbestosis